



会長 古賀 健一郎  
副会長 古田 和彦  
書記 古賀 健一郎  
会計 大高 治  
直前会長 古田 和彦

国際会長 (IP) Kim Sang-chaе (Korea)

“Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長 (AP) 大野 勉 (神戸ポート)

“Make a difference beyond the 100th”

「100年を越えて変革しよう」

東日本区理事 (RD) 大久保 知宏 (宇都宮)

「私たちは次の世代のために何ができるか？」

“Think for the next generation”

湘南・沖縄部部長 (DG) 若木 一美 (横浜とつか)

「咲かそう 人の輪〜明るく・楽しく・元気よく〜」

横浜クラブ会長 (CP) 古賀 健一郎

「今こそ『すべての人を一つにして下さい』(ヨハネ17章)を覚え、平和への行動を！」

“Now, keeping 『All be one with each other』 (John 17), Act for peace!”

監事 松島 美一  
ブリテン 伊藤 誠彦  
担当主事 青木 英幸

### <今月の聖句>

古田 和彦

わたしたちは知っているのです。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。希望はわたしたちを欺くことはありません。

(ローマの信徒への手紙 5 : 3-5)

### 今月のひとこと

#### 「テレビ観戦五輪のボランティア」

大高 治



シティーキャスト  
ユニホーム(試着)

2021年7月23日「2020東京オリンピック」の開会式が挙行されました。近代オリンピック史上初めての延期です。いうまでもなく新型コロナの世界的な感染拡大によるもので、長く歴史に残ることでしょうが、世界の英知と協力ですばやく鎮静化が望まれます。平和の祭典、オリンピックは過去5回中止されています。いずれも戦争がその理由です。夏季では、1916年のベルリン、1940年の東京(アジアで初開催になるはずでしたが、フィンランドのヘルシンキが代替地となりましたが戦況の悪化で中止)、1944年ロンドン。冬季では、1940年の札幌と1944年のイタリアの科尔チナ・ダンペッツォでした。

2021年7月23日「2020東京オリンピック」の開会式が挙行されました。近代オリンピック史上初めての延期です。いうまでもなく新型コロナの世界的な感染拡大によるもので、長く歴史に残ることでしょうが、世界の英知と協力ですばやく鎮静化が望まれます。平和の祭典、オリンピックは過去5回中止されています。いずれも戦争がその理由です。夏季では、1916年のベルリン、1940年の東京(アジアで初開催になるはずでしたが、フィンランドのヘルシンキが代替地となりましたが戦況の悪化で中止)、1944年ロンドン。冬季では、1940年の札幌と1944年のイタリアの科尔チナ・ダンペッツォでした。

日本は夏冬2回の中止、今回は延期という歴史を残しました。だが、新型コロナの感染拡大という難しい中でオリンピックが開催されたことに、内外の多くの選手が述べた感謝の弁に感動を覚えました。また今回、国別入場行進の中に「難民選手団」が含まれておりました。世界の隅々までの平和の確立はまだ遠いことなのです。母国を無くした選手も平和の祭典に出場出来るよう配慮されました。世界のオリンピック関係者は「平和への道」を忘れてはおりませんでした。

私は横浜市・都市ボランティアに応募し、シティーキャスト2千人の1人になりました。最寄りの関内駅から横浜球場への一般のお客さまの誘導、案内が役割です。その他シティーキャストには室内での事務局補助、競技場外の美化推進に応募した方々がおられます。オリンピックのために客席を増設したこの球場ではソフトボールと野球の決勝リーグが、日産スタジアムでもまたサッカーとラグビーの決勝リーグが行われました。一方、横浜ではパラリンピックの競技はなく私のボランティア活動は7月24日から8月7日の13日中の5日間、17時から23時の予定でした。

以下の写真は出場選手を支援しているスポーツウェア一会



## <2021年8月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
12名	メン 8名 メネット 1名 コメット 0名 ビジター 0名 ゲスト 0名 合計 9名	75 % (メーキャップ 1名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円	

## <9月の行事予定>

EMC/E YES

日	曜	時間	行事内容	場所
1	水	10:30	日本語スピーチコンテスト	Zoom
7	火	19:00	第91回 Y-Ys 協議会	Zoom
9	木	18:30	横浜クラブ第一例会	Zoom
23	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

社の知人がネット裏から撮ったもので、8月7日の野球の決勝戦の開会式です。正面のライトの右に ymcaY のロゴが見えます。日本対米国戦、あたくも横浜 YMCA への奉納試合のようです。

オリンピックの開催を1年延期したにもかかわらず、新型コロナウイルスの感染は治まらず、2021年3月には海外からの一般客の受け入れが断念されました。それでもボランティアに対する「おもてなし」や感染症予防研修、英会話のオンライン研修は続けられました。しかし、7月9日0時40分発信の緊急メールは「横浜でのオリンピック競技も無観客で行われることとなり、シティーキャストのボランティア活動は中止になりました。お送りしたユニホームは記念にして下さい」と丁寧な文面でした。無観客のうわさは本当になってしまいました。本格的なテレビ観戦オリンピックへの移行です。

オリンピック組織委員会は7年前に立ち上げられ、横浜市でのオリンピック・パラリンピック推進課も長く準備をして来ました。シティーキャストの中止で我々も残念ですが、オリ・パラ推進課の方々には残念を通り越し無念ではなかったでしょうか。ワクチン接種が半年早く開始されていたなら、事態は全く違っていただろうでしょう。

オリンピックの開催に賛同出来なくなり、また感染を恐れてボランティアを辞退する人が出ましたが、オリンピック組織委員会の事務局長は「7万人のボランティアには何かの活動の機会を残したい」と悲壮でした。組織委員会が募集したボランティアはフィールドキャストと呼ばれ、競技場内で活動し、競技開催都市が募集した我々シティーキャストは競技場の外で活動し、ユニホームも異なりました。横浜球場内でもフィールドキャストが場内の誘導役を果たしていたようです。霞が関のゴルフ場ではギャラリーに代わるかのように最終の18ホールに賑わいをもたらしました。

思えば2019年9月からのラグビーワールドカップ(WC)のボランティアに決まっていた私は、3年前の2018年の9月、2020年のオリンピックにYMCAで日本語を習う留学生をボランティアに採用してもらえないかと、横浜YMCA学

院専門学校日本語科の学科長と市民局スポーツ統括室オリンピック・パラリンピック推進課を訪問しました。無理な相談でした。ボランティアの団体募集はなく、2020年に活動出来る学生の来日はまだ先のことなものでした。しかし、オリ・パラ推進課の方々には嫌な顔一つせず、親切に応じて下さいました。WC終了後の11月、「来年のオリ・パラの観客誘導の参考にして頂ければ」と、「WC—Rugby 新横浜駅でのボランティア経験と提案」をオリ・パラ推進課に提出しました。推進課の課長さんは後日、「今日の対策会議であれを発表します」と知らせて下さいました。採用頂ける事項があれば嬉しいことでしたが、お客様は来なかったのです。

今回のオリンピックではボランティアによる美談が話題になりました。ジャマイカの110mハードルの選手は間違った競技場に来てしまいました。正規のバスでは大切なウォームアップに間に合いません。ボランティアの女性は機転を利かし、タクシーを勧めお金を貸して上げました。この選手は順調に決勝に進み、金メダルを獲得したのです。ジャマイカは陸上競技の大国。彼女はジャマイカの観光相から招待されることになりました。カリブ海に親日国が増えることになるでしょう。

また開会式での入場行進では「Chinese Taipei」の旗が入って来るや「次は台湾、台湾です」とのNHKのアナウンス。台湾でTV観戦中の多くの方々に喜ばせたようです。台湾に駐在経験のある私は、片言の台湾語と中国語を駆使してのハイタッチ送迎に期待しておりました。この台湾人の喜び、ハイタッチ以上のものとなりました。

## 「8月第一例会報告」

古田 和彦

日時：8月26日(木) 18:30~20:10

開催方法：Zoomによる開催

出席者：青木、秋元、伊藤メン・メネ、大高、齋藤、佐竹、松島、古田 9名  
ビジター、ゲスト なし

司会は松島ワイズの予定であったが、多少遅れたため、古田ワイズが務める。また、古賀会長が入院加療中のため、古田副会長が代理を務める。

定刻、開会点鐘と挨拶を古田副会長が行う。Zoom開催のため、ワイズソングは割愛し、ワイズの信条を共に唱和する。今月の聖句は、押川ワイズが定めたイザヤ書11章6節



を古田ワイズが朗読し、ブリテンに記載されている聖句のコメントを読み上げ、開会の祈りを行う。

続いて卓話に入る。卓話者は当クラブ担当主事であると共に横浜 YMCA 学院専門学校校長の青木英幸ワイズ、卓話題は「横浜 YMCA 専門学校の現状」である。本日の卓話を聞き、当クラブ今年度の方針である横浜 YMCA 専門学校で学ぶ外国人留学生へのサポートをどのように展開できるかその足掛りとしたい。卓話の概要は次の通り。

横浜 YMCA には4つの専門学校がある。横浜中央 YMCA にある「横浜 YMCA 学院専門学校」（作業療法科、国際情報ビジネス科、日本語学科）、厚木 YMCA にある「YMCA 健康福祉専門学校」（こども総合科、介護福祉科、日本語学科、通信教育併設）、湘南とつか YMCA にある「横浜 YMCA スポーツ専門学校」（スポーツインストラクター科、スポーツトレーナー科）、川崎 YMCA にある「YMCA 国際ビジネス専門学校」（観光ビジネス科、日本語学科）である。なお、この中で外国人留学生を受け入れている学科は、日本語科のほか、横浜中央の国際情報ビジネス科、厚木の介護福祉科、川崎の観光ビジネス科である。専門学校4校は横浜 YMCA の使命を具現化するため、共通の3つのポリシーを定めている。

第1は入学者受け入れの方針、アドミッションポリシーで、学内外で出会う一人一人の違いを受け入れ、異なる価値観や文化などに偏見を持たず互いの長所を見つけること等を大切にすることとし、第2の教育課程上のカリキュラムポリシーでは、学生自身が様々な問題に気付き、自ら問いかけ、解決していくことができる機会を提供するほかグループワークの手法を多く用いる等とし、第3の卒業認定に係るディプロマポリシーでは、多くの人との出会いの体験から人や社会とのかかわりによって、共に生きる福祉社会の担い手となることなどとしている。

YMCA 専門学校の特徴は、専門学校以外の YMCA の高齢者施設、地域ケアプラザ、保育園のリーダー、キャンプ・水泳のリーダー等幅広く参加できることや、実習先として前記の諸施設を利用できること、留学生と日本人との交流機会が多くあることなどである。現在4校合わせて留学生は144

名であるが、コロナのため未入国者が27名いる。留学生の出身地は17の国と地域に上るが、ベトナム、中国、ネパールが上位3か国である。

留学生たちの最大の課題は生活費である。親からの仕送りもあるが、アルバイト、奨学金と合わせて生活している。このたび、国の高等教育の就学支援新制度に横浜 YMCA 専門学校は認定されたが留学生には適用されない。留学生の支援としてワイズメンズクラブからマスク、ハンカチの寄付、YMCA ポジティブネット募金（5名、一人30万円）、チャリティーラン支援、フードドライブ（食料・生活用品の支援）、コロナで生活が急変した学生（留学生含む）への国、県、市からの支援、校

友会からの支援となっている。

以上の卓話を受け、留学生への支援をどのように展開できるか、経済的支援とともに異国での暮らしでの戸惑いや不安を和らげ解消する手助けをどうできるかが課題である。

卓話に続いて、ビジネス。古田副会長から行事予定、特に、9月例会は広報について検討するので、各自意見を出してほしいとの要請があった。ハッピー・バースデイは該当者なし、20時10分、古田副会長の点鐘で閉会した。

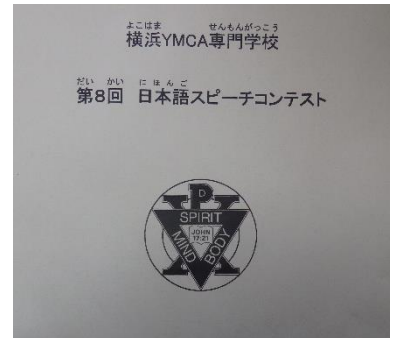
## 「第8回日本語スピーチコンテスト報告」

古田 和彦



横浜 YMCA カレッジグループが主催し、わがクラブと厚木クラブが共催する、「第8回日本語スピーチコンテスト」が9月1日（水）午前10時半から行われた。昨年はコロナ禍で中止のやむなきに至ったが、今年はオンラインで、Zoom 開催することができた。

開会にあたり、当クラブ古田副会長、佐竹 YMCA 総主事があいさつ。それぞれ、困難な中、開催にこぎつけたスタッフと勇気をもってコ



### スピーチコンテスト

じゅんぱん 順番	テーマ	しめい 氏名・学校名	こくせき 国籍
1	じんせい たからもの 人生の宝物	イ ジンソプ 李 眞燮 よこはま がいんせんもんがっこう (横浜YMCA学院専門学校)	かんこく 韓国
2	よ なか 世の中には「ウルトラマン」が います	オウ ジト 王 子暉 とうきょう (東京YMCAにほんご学院)	ちゅうごく 中国
3	うんめい 運命	イ ジファン 李 知訓 よこはま がいんせんもんがっこう (横浜YMCA学院専門学校)	かんこく 韓国
4	にほんご べんきょう 日本語の勉強の目標	フナム トライズ オン PHAM THUY DUONG かんこくふくしせんもんがっこう (YMCA健康福祉専門学校)	べトナム
5	さか 坂	バ ラン 馬 蘭 よこはま がいんせんもんがっこう (横浜YMCA学院専門学校)	ちゅうごく 中国
6	ほっけん 発見	チェン ハイネ 陳 佩琪 よこはま がいんせんもんがっこう (横浜YMCA学院専門学校)	たいわん 台湾
7	きぼう 希望のいちご	チャウハン プラディープ CHAUHAN PRADEEP よこはま がいんせんもんがっこう (横浜YMCA学院専門学校)	インド

ンテストにアプライされた参加者に敬意と感謝が述べられた。続いて、審査員5名の紹介。当クラブの古田和彦ワイズ、厚木クラブ会長の佐藤節子ワイズ、神奈川県青年国際交流機構会長の古家凌成さん、YJC サポーターの和田登志子さん、審査委員長を務める恵泉女学園大学人文学部教授の秋元美晴さん(当クラブ)の5名が紹介された。審査の方法の説明の後、早速スピーチの開始。

今回のスピーカーは、関内の横浜 YMCA 学院専門学校から3名、厚木の YMCA 健康福祉専門学校、川崎の YMCA 国際ビジネス専門学校、東京 YMCA にほんご学院から各1名の7人であった。それぞれのスピーカーは所属校でスピーチし、会衆は自宅や所属校で聞き、審査員は結果を後刻送信することとなっている。スピーカーの国籍(地域)は韓国2名、中国2名、台湾、ベトナム、インド各1名だった。短い滞り期間にもかかわらず、流暢な日本語で国際結婚について、日本での生活における喜びや課題について、それぞれの視点で述べてくれた。質問にも的確に答えており、日本語力がしっかりとしていることがよく見て取れた。スピーチの後、秋元審査委員長から、コロナ禍の中での開催に感謝を表するとともに、難しい環境のなか挑戦された各スピーカーにねぎらいと励ましの言葉が贈られた。佐藤節子厚木クラブ会長の閉会挨拶で11時50分閉会した。その後、12時過ぎから20分ほど、スピーカーとワイズメンらとの交流の時が小グループに分かれて Zoom で開催された。

当クラブの参加者：青木、秋元、伊藤メン・メネ、大高、古賀、佐竹、古田の8名。

した台湾の陳佩琪さんでした。台湾を離れて日本に来てはじめて母国のよさに気が付いたという内容でした。はっきりとした日本語で力強く語ってくれました。

優秀賞は中国の馬蘭さんでした。〈坂〉というタイトルで、坂には上り坂、下り坂、まさかという坂があり、コロナ禍によりその「まさか」を経験したご自身の悲しい話をしてくれ、最後に「まさか」はいつ来るかわからないからすぐ友達ちに連絡をしよう！という提案をしてくれました。

〈人生の宝物〉というタイトルで日本人の奥さんとの出会いと結婚、そして毎日の生活でよく経験する文化摩擦について、嬉しそうに話してくれ、共立メンテナンス賞だったのは韓国の李眞燮さんです。

神奈川県青年国際交流機構賞を得たのは、インドの CHAUHAN PRADEEP で、暗い毎日の中、いちごの鉢をあちこちにもって行っていちごができるのを楽しみにするようになり、最後になったいちごは神様に供えたという〈希望のいちご〉という話でした。

今回のスピーチの内容は例年と比べて、コロナ禍の影響かもしれませんが、哲学的というか思索的というか、そういう内容が多かったように感じました。留学生のみなさんも私達と同じように不安と閉塞感の中で毎日を過ごしているのだと思います。きっとコロナ禍にいる我々日本人以上に、外国である日本でコロナ禍を生活している留学生のみなさんはつらい経験をしているのではないのか、それを知ることができる貴重な機会ともなりました。最後に関係者のみなさまのご尽力に心からお礼を申し上げます。

## 「第8回日本語スピーチコンテスト」

### (審査員長の立場から)

秋元 美晴



今回の日本語スピーチコンテストは、私には一服の清涼剤のようでした。昨年から続いているコロナ禍で不安と閉塞感の中で非日常的な生活を強いられてきたからです。

7名のスピーチのタイトルは前頁にあるとおりです。どれも内容は個性的で説得力があり、みなさんの日本語力も素晴らしいので、審査をするのが大変でした。これはスピーチをしてくれた留学生の皆さんの努力はもちろんですが、ご指導なされた先生方の成果の賜物だと思います。

審査の結果みると、大変な接戦でみなさん2点か3点の違いでした。最優秀賞は〈発見〉というタイトルでスピーチを

## 「第28回AIDS文化フォーラム in 横浜」

佐竹 博

8月6日(金)～8日(日)で、第28回AIDS文化フォーラム in 横浜(テーマ:ともに生きる つながりの参加者になる)が開催された。

組織委員会は、社会福祉法人横浜いのちの電話、カトリック横浜司教区、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区湘南・沖縄部、横浜 YMCA によって構成。これまで会場としてきたかながわ県民サポートセンターが改修工事のため、今年度は同じく県の施設「あーすぶらざ(栄区・本郷台)」を会場にオンラインとハイブリッド開催の予定で準備が進められてきた。

しかし感染拡大の状況下から、オンラインのみでの開催となり、横浜 YMCA チャペルからの配信となった。横浜 YMCA が配信会場となったのは「あーすぶらざ」より通信環境が良いから」という理由と聞いて少しうれしかった。

オンラインで提供されたプログラムは約30、参加者(視聴者)が延べ約2,500人であった。開会式では組織委員会より若木湘南・沖縄部長と、総主事として私がいさつを行った。

配信されたプログラム全般の今年度の傾向は、COVID-19に関連付けられた内容が目立った。特に、AIDS文化フォーラムの根底に流れる「差別や偏見に対する理解促進」、「ありのままのよというこを受け入れる多様性へのチャレンジ」「宗教や社会的立場」「これらの教育」など、さまざまな切り口で認め受け入れる文化の創造にチャレンジする取り組みが、随所でコロナウイルス禍にある人、社会、地域などに関連して語られていた。

コロナとの対比では、文化フォーラムが28年間取り組んで

きた「これまで」と、「同質である」「今までとは違う」「これまでの学びを生かせる」「新たな課題が生まれた」などと考え方もさまざまであり、各セッションとも示唆に富んでいた。差別や偏見、理解不足により当事者を傷つけてしまう言動、排他的な社会、自分は大丈夫だという根拠のない過信など、今のコロナの時を生きる私たちが感じ学んでいることを今からでも HIV/AIDS だけでなく、小さく・弱くされている人々に対するまなざしや行動に活かすような応用をして社会をよくしていくことが必要だと感じている。

## 第二例会報告

伊藤 誠彦

日時：8月12日(木) 17:50~19:30

開催方法：Zoomによる開催

出席者：青木、伊藤、大高、古賀、古田

当日が中央 YMCA の休館日であることから、第一例会と第二例会の開催日を入れ替える、変則日程で第二例を開催した。古賀会長の入場が遅れたため、例会は定刻を大幅に遅れて開始。

### 1. 行事予定

資料により8月~10月の予定が示され、確認した。

### 2. 協議・確認事項

#### 1) 横浜クラブ8月例会

卓話は、横浜 YMCA 学院専門学校校長青木英幸ワイズによる「横浜 YMCA 専門学校の現状」。

#### 2) 横浜クラブ9月第一例会

卓話は行わず、特に、新入会員獲得のための横浜クラブの「広報の在り方」について皆で協議する機会にする。このため、予め各自の意見をまとめたうえ、古田福会長宛てに提出すること。

#### 3) 日本語スピーチコンテスト(9月1日)

参加留学生の所属 YMCA ・人数、審査員等の確認  
参加者は横浜 YMCA カレッジグループから横浜、厚木、川崎の3校に東京 YMCA 日本語学院を加えた4校より7名が参加予定。  
横浜クラブ、厚木クラブからの支援金、協賛企業・団体の確認等を行った。

#### 4) 第91回 Y-Y's 協議会 (9月7日、横浜クラブ担当)

ワイズの側からは第一回湘南・沖縄部評議会の報告、YMCA の側からは日本語スピーチコンテスト、チャリティランの報告を行う。  
司会進行は病氣療養中の古賀会長に替わって古田副会長が担当する。



担当主事 青木 英幸

2021年9月1日(水)に「第8回横浜YMCA専門学校日本語スピーチコンテスト」を無事に終了することが出来ました。第1部のスピーチコンテストはZoom(オンライン)のセミナー機能：ウェビナーを使用して発表者を中心に画面に表示させ進行しました。第2部の交流会はZoomの会議機能：

ミーティング・ブレイクアウトルームを使用し、横浜 YMCA 専門学校発表学生6名を4グループに分け、参加者の方々と交流する時間を持つことが出来ました。

ワイズメンズクラブはじめとする関係者の方々約20名にご視聴・ご参加いただきまして誠にありがとうございました。このようなかたちでスピーチコンテストを開催し、留学生へのご支援をいただけていることに心から感謝申し上げます。

9月18日(土) 午14:00 ~ 15:30にZoom(オンライン)による第2回目となる「Youth Conference」が、ユース世代(高校生から20代の学生)を対象に開催されます。スピーカーは NPO 法人かながわ外国人すまいサポートセンターの中国語スタッフとして現在も継続中の天野萌さん(明治学院大学4年)により、「多文化共生の実現に向けて私たち1人ひとりにできること」をテーマにお話しいただきます。前回に引き続き専門学校生も参加し、身近な社会課題を「自分ごと」として考え、行動することのきっかけとなってもらえればと思っております。

コロナ禍にあってもオンラインを活用することで私たちの活動が止まらず、実施できていることを感謝いたします。

### 9月例会プログラム

日時：9月9日(木) 18:30~20:00

場所：Zoom 開催

司会：古田ワイズ

- 1.開会点鐘及び挨拶 . . . . . 古田副会長
- 2.ワイズソング・ワイズの信条 . . . . . 全員
- 3.今月の聖句 . . . . . 古田ワイズ
- 4.ゲスト・ビジター紹介 . . . . . 古田副会長
- 5.卓話 (予定なし)
- 6.ビジネス・報告 . . . . . 古田副会長  
新入会員獲得に重点を置いた、横浜クラブの広報のあり方についての討議 他
- 7.Happy Birthday 該当者なし
- 8.閉会点鐘 . . . . . 古田副会長

例会報告：伊藤ワイズ

## 10月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
14	木	18:30	横浜クラブ第一例会	Zoom
23	土	14:00	湘南・沖縄部 部大会	とつかY
28	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 青木英幸にご連絡下さい。

メール [aoki\\_hideyuki@yokohamaymca.org](mailto:aoki_hideyuki@yokohamaymca.org)  
電話 045-661-0080